

ゆあさ 議会だより

平成29年8月発行 No.67

発行：和歌山県湯浅町議会
編集：議会広報編集常任委員会
住所：〒643-0002

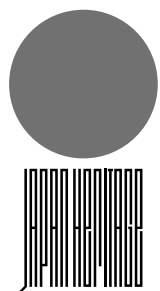
有田郡湯浅町大字青木668番地1
TEL 0737-64-1118
FAX 0737-62-4450

URL：http://www.town.yuasa.wakayama.jp/
e-mail：gikai@town.yuasa.lg.jp



古民家宿泊施設(北町) 今秋オープン予定

伝建地区内の宿泊施設は
全国でもめずらしく、
文化庁も注目しています。



JAPAN HERITAGE

祝 日本遺産認定
「最初の一滴」
醤油醸造の発祥の地

6月定例会

新しい委員会構成	2
全員協議会・各委員会	3~6
一般質問(7人が登壇)	7~13
編集後記	14

第2回定例会において、新しい議長・副議長と各委員会の構成が決まりました。

議長副議長就任挨拶



議長 山家 敏宏



副議長 石橋 千歌子

町民の皆さまには、日頃より議会に対してご理解とご協力をたまわり、心から感謝申し上げます。

このたび、第2回定例会で議員各位から推選を頂

き、議長並びに副議長に就任させていただきましたことになりました。本町の現状をみれば防災対策をはじめ、人口減少及び少子高齢化に対応するための施策や湯浅駅周辺整備と多くの課題を抱えています。議員が一丸となって安心安全な住民生活の向上をめざし、活力ある開かれた議会活動に取り組んでまいります。今後とも町民のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

新しい議会構成

議長・副議長

議長	山家 敏宏
副議長	石橋 千歌子

議会運営委員会

議会運営委員会	◎松本 光成 明也里
	○横石 矢本 田真

常任委員会

総務文教常任委員会	◎山本 年哲 夫宏 治
	○小松 英千 歌子 敏祥
福祉産業建設常任委員会	◎石本 一也 里成 明久
	○山松 本真 光政 典久
議会広報編集常任委員会	◎山田 真里 夫宏 治
	○小石 松英 千歌 子也 哲

特別委員会

人権推進特別委員会	◎石橋 千歌子
	○小松 英夫 光成 也明 宏里 治哲 久
	石本 一也 敏宏 真祥 年哲 久
	横矢 政明 山田 真里 由良 年哲 久
	山本 典久
	◎山田 真里
まちづくり・防災特別委員会	○石橋 千歌子
	小松 英夫 光成 也明 宏里 治哲 久
	石本 一也 敏祥 年哲 久
	山松 本真 光政 典久
	横矢 政明 山田 真里 由良 年哲 久
	山本 典久

一部事務組合議会

湯浅広川消防組合	石橋 千歌子 山田 真里 山本 年哲
有田周辺広域圏事務組合	小松 英夫 横矢 政明 松本 典久
有田衛生施設事務組合	石本 一也 横矢 政明 山本 年哲
有田郡老人福祉施設事務組合	松本 光成 石本 一也 由良 祥治
和歌山県後期高齢者医療広域連合	山家 敏宏

◎印は委員長 ○印は副委員長



平成29年度一般会計補正予算 3億1,803万円

湯浅駅周辺整備事業に伴う実施設計業務委託	1億3,318万円
ぬくもりふれあいセンター推進事業業務委託	2,275万円
地方創生推進交付金拠点施設整備工事	2,350万円

平成29年第2回定例会を6月7日から16日までの日程で開催しました。

本定例会に提案された各会計補正予算、条例改正など、提案された議報6件、議案15件は原案の通り可決・承認しました。



▲湯浅駅前

(単位：万円)

項目	補正額	主な歳出の説明	補正後の額
総務費	2億5,275	湯浅町日本遺産推進協議会負担金、地域総合整備資金貸付金、湯浅駅周辺整備事業に伴う実施計画業務委託など	11億9,350
民生費	4,706	ぬくもりふれあいセンター推進事業業務委託、地方創生推進交付金拠点施設整備工事及び設計監理業務委託など	20億5,740
衛生費	120	出産祝い金	6億8,013
商工費	600	観光看板設置工事など	6,665
土木費	790	町道路面性状調査業務委託、通学路交通安全対策工事	4億1,714
教育費	312	きのくにコミュニティスクール推進事業費、中学校運動部活推進事業費、子どもの居場所づくり推進事業費	5億7,391
歳出合計	3億1,803		62億1,290

※補正後の歳出合計は補正されていない項目も含めています。

平成28年度一般会計補正予算(専決処分)

財政調整基金、減債基金、まちづくり寄付金の積立金など4億3,960万円を追加。



全員協議会

人事案件

○農業委員会委員任命同意

新しく池田幸世氏、橋本顕行氏、川瀬正也氏、岡本善樹氏、近藤弘一氏、坂本博俊氏、白井正昭氏、奥谷佳宣氏、松本典久氏の9名を任命することに同意しました。

○監査委員の選任同意

新しく松本典久氏が選任されました。

条例制定

○出産祝い金支給条例の一部

改正

第3子以降1万円から3万円に増額する改正です。

問 出産祝い金支給条例の改正

については、定住促進事業との関連は考えていないのか。

答 子育て支援を充実させることによって、定住促進につなげていきます。



一般会計予算等

問 ふるさと納税について町

独自の使い方を考えてみてはどうか。

答 特色のある事業を検討して

行きたいと考えています。

問 きのくにコミュニティス

クール推進事業とは。

答 「学校運営協議会」を設置

し、地域と学校・保護者が連携し、子どもの成長を支える学校づくりを進めるものです。

問 子どもの居場所づくり推進事業で、具体的な事業予定は。

答 学習支援事業として、学習

塾と競合しない形の教室を2ヶ所に設けます。一人ひとりがつまづいているところまで戻った学習内容を計画しています。

問 複合ビル建設を含む湯浅駅

周辺整備事業は、いつの完成を考えているのか。また、事業費、一般財源はいくらを想定しているのか。

答 完成は平成31年度末を考

えています。事業費については20億円を想定しています。補助金や起債を活用して、残りの一般財源は補助金の交付状況によりますが、4〜5億を考えています。

問 複合ビルを建設するとなっ

ているが、何人の避難が可能か。

答 ホール、地域防災施設、廊下や屋上等合計で1,000人程は避難できると考えています。

複合施設面積表 (単位: m²)

3階	地域交流センター	455
	地域防災施設	220
2階	図書館	775
	観光交流センター	105
1階	まちおこしセンター	105
共用	各階通路・階段・EV	760
合計		2,420

(6月28日開催の駅前整備説明会の配布資料より抜粋)

問 ブランド戦略推進室を設置する目的は。

答 日本遺産や地方創生に関する事業を加速化させるため、また、そのために関係する課を総括する部署の必要性が生じてきたこと、さらに、今後の駅前周辺整備に対応していくため「ブランド戦略推進室」を新設したものです。



総務文教常任委員会

主な条例制定・議案

○条例の一部改正

平成28年度で期限切れを迎える軽自動車税グリーン化特例については、2年間継続延長することや、配偶者控除及び特別控除の納税者本人の合計所得金額の引き上げなどです。

○都市計画税条例の一部改正

固定資産税とともに、都市計画税においても保育の受け皿整備促進のために特例措置を創設します。

○工事契約の締結について

田村小学校プール改築工事について、株式会社中井組と締結するものです。

問 完成はいつになるのか。

答 平成29年12月末を予定しています。

福祉産業建設常任委員会

主な条例制定・議案

○国民健康保険条例の一部改正

法令減額基準を拡大するための改正です。

問 国保の平成30年度の県一元化への準備状況は。

答 国保税について、国のシミュレーションが示されたが、和歌山県は税の県下統一の目標も見えていない状況です。湯浅町は全体としてほぼ変わりはありませんが、資産割を減らす分、所得割等で補う見通しです。

○工事請負契約について

旧庁舎跡地の整備工事について株式会社中井組と締結するものです。

問 工事請負契約については3

月議会にて制定した公契約条例により実施していくのか。

答 公契約条例に基づき、行っていきます。

平成28年度 特別会計補正予算

(単位：万円)

項目	補正予算額	説明	補正後の予算
国民健康保険事業	△1億795	一般被保険者療養給付費・保険財政共同安定化事業拠出金など	21億9,890
後期高齢者医療	1,001	繰出金	3億1,915

審議結果	議案名等	議員名									
		石橋千歌子	小松英夫	松本光成	石本一也	横矢政明	山家敏宏	山田真里	由良祥治	山本年哲	松本典久
承認	専決処分の承認を求める件〔条例の一部改正〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求める件〔都市計画税条例の一部改正〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求める件〔国民健康保険条例の一部改正〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求める件〔平成28年度一般会計補正予算(第7号)〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求める件〔平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求める件〔平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)〕	○	○	○	○	○		○	○	○	○
同意	農業委員会委員任命の同意を求める件(8名分)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
同意	農業委員会委員任命の同意を求める件(1名分)	○	○	○	○	○		○	○	○	-
可決	出産祝い金支給条例の一部改正	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	工事請負契約の締結について(2件)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	平成29年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
可決	課等設置条例の一部改正	○	○	○	○	○		○	○	○	○
同意	監査委員選任の同意を求める件	○	○	○	○	○		○	○	○	-
報告	専決処分の報告について〔損害賠償の額の決定及び和解について〕(2件)	○	○	○	○	○		○	○	○	○

(注) 山家敏宏議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、-は退席



人権推進特別委員会

【議題】

○町民人権学習会について

○人権啓発映画上映会について

○人権尊重委員会・町職員人権研修について

○同和問題・相談窓口について

報告

今年度の人権学習会は町民の防災意識や人権意識を高め、近隣住民同士が関わりを持って互いに助け合うことを念頭に置くことで、避難時や避難生活において、他者を配慮した行動につながるよう町内22会場において「災害と人権」をテーマに開催していきます。

問

障害者差別解消法が制定されたことについて、町として

何か取り組んできたことはあるのか。

答 今後、条例制定を検討して行きたいと思えます。

要望

職員の人権研修については十分な予算を確保したうえで、今後幅広い研修も視野に入れ、考えていってほしい。



まちづくり・防災特別委員会

【議題】

○都市計画マスタープランについて

○警察官舎跡地（地方創生拠

点整備交付金）について

○大仙堀の環境整備について

○観光情報センターについて

問 都市計画マスタープランの改定には、海岸沿いに面した避難道路を考えていないのか。

答 マスタープランの改定は今年度末を予定しているので、湾岸道路についても検討して行きます。

問 警察官舎跡地に設置する特産物流通物販センターの地元説明はどうしていくのか。

答 設計と詳細が決まり次第、説明会を行っていきます。

問 大仙堀の環境整備の進捗状況は。

答 今年度から現地調査を行なっています。今後、下排水管の調査も行い、県と相談しながら早

く整備を進めていけるよう考えていきます。

問 観光情報センターの運営は誰がするのか。

答 観光協会に委託しています。



▲観光情報センター（湯浅漁協前）



歴史と文化の湯浅ストーリーが地域の活性化

①「日本遺産」ブランドの確立と認知度向上等の取り組みについて

②山田地域の魅力発信や観光促進に「道の駅」を
石橋 千歌子 議員



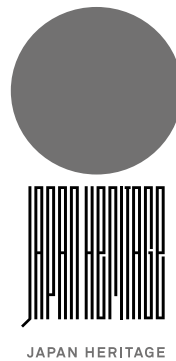
質問①

『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』のストーリーが日本遺産に認定されました。風情ある町並みだけでなく、歴史と伝統が人々の暮らしの中に生き続けている事が、認められたのです。今後、認定されただけに留まらず、町民の皆様が湯浅に住んで良かったと思っただけに留まるように「日本遺産ブランド」確立の取り組みをお伺いいたします。

答弁(上山町長)

町民の皆様や多くの方々から認定を喜ぶ声や、お祝いの言葉が寄せられております。心から嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。議員ご指摘のとおり認定がゴールではありません。今後、文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」をはじめ、様々な事業を駆使し「日

本遺産ブランド」の普及啓発と情報発信を進めます。和食の文化を支える醤油醸造発祥の地として、湯浅町がブランドそのものとなるよう取り組んでまいります。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

▲日本遺産ロゴマーク

質問②

「道の駅」は、道路利用者の休憩施設から現在は「地方創生」の核として、農業・福祉・防災など地域の個性・魅力を活かした様々な工夫で、地域活性化の拠点とする取り組みが進展。

山田地域は、二の丸温泉やログハウスコテージがあり、みかん・イチゴ・湯浅ナスなど四季折々の地元農産物の魅力が一杯の地域です。

「日本遺産認定」を契機として、

山田地域の魅力発信や観光促進の拠点としての「道の駅」施設の活用をしてはいかがでしょうか？

答弁(産業観光課長)

観光振興には、食の特産は欠かせません。販売所としては、伝建地区山田川北岸の警察官舎跡地に販売施設の設置を進めています。湯浅町を訪れる観光客の皆さんにおみやげや特産物の販売を計画しているところです。ご質問の山田地域では、温州みかん・イチゴなどの農産物を、二の丸温泉や山田山を訪れる観光客に無人販売されている現状です。町としては、新設される物販施設での販売を考えたいただくか、地域主体で運営する直売所の計画があれば協力していきたいと思っております。



安心安全なまちづくりについて



- ①部落差別解消法の施行を踏まえ、基本計画等を定める協議会の設置を
- ②津波避難シェルター設置に向けて具体的な取り組みは
- ③津波の浸水地域にある「地域福祉センター」の移転計画は
- ④警察官舎跡地の利用について地元説明は
- ⑤同和対策事業で開発した山田山に進出する企業の地元雇用は

石本 一也 議員

質問①

昨年度和歌山県内において、同和地区の問合せ8件、差別発言4件の差別事件が発生しています。また、つい最近では、グーグルマップ上の大阪市内の駅名が差別的な表現に改ざんされる事件が発生しました。

町として部落問題を解決するための基本計画を定める必要があると思いますが、その取組のため「部落差別解消推進協議会」を設置して方針を立ててはどつですか。

答弁(町長)

悲しい差別事件がなくなる時代を作ることが行政に課せられた責務でありますし、そのための施策を住民の方々の意見を聞いて前向きに取り組んでいきます。

質問②

前回の議会でも質問しましたが、南海トラフ巨大地震などの災

害が発生したときに役に立つ津波

シェルターについて、具体的にいつ頃どこに設置するのか教えてください。

答弁(総務課長)

現在検討していますが、補助金の条件がかなり厳しく、引き続き既設団体の状況も参考にしながら前向きに進めます。

質問③

以前から何度も質問をしていますが、津波浸水区域の中にある福祉避難所の指定をした地域福祉センターの移転計画について、その進捗状況を教えてください。

答弁(健康福祉課長)

移転の計画は、現在候補地の模索中で、財源計画も含め、移転計画の策定を進めていきます。

質問④

警察官舎跡地の利用について、概要を教えてください。また、そ

の内容を地元住民に説明する場をもつていただけますか。

答弁(まちづくり企画課長)

跡地は、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、観光客を対象とした特産物の流通・物販の施設の設置を進めています。また、事業内容を説明する場を設けます。

質問⑤

山田山は、同和地区住民の産業就労対策のために同和対策事業で開発してきましたが、新たに進出する企業にもその趣旨に沿うよう配慮して頂きたいと思います。

答弁(町長)

山田山の町有地を賃貸して誘致した企業は、新たな雇用の確保や地域振興につながるものと期待しています。



旧診療所を拠点とする 「ぬくもりふれあいセンター推進事業」 について



山田 真里 議員

質問

旧診療所を改修し、事業を実施する目的は何か、また総合センター等が機能しているなかで新たな拠点の位置づけは。

答弁(町長)

昨年「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立し、町としても積極的に部落差別の解消を推進する立場にあるところから、改修した施設を拠点に地域コミュニティ活動の充実を図るものです。総合センターでは隣保館事業等を実施しているところですが、本事業で民間に事業を委託することにより、町内の幅広い利用者の交流の場として、福祉・子育てのワンストップ化を図り、持続可能なまちづくりのモデルケースづくりを行います。

答弁(健康福祉課長)

地方創生推進交付金事業とし

て3カ年の事業です。来年度も

1400万円、再来年は700万円を予定しています。町の直営事業として「非営利性」「公共性」と「専門性」や同様の事業実績がある事業者に委託を予定しています。

再質問

町の関わり方は。

答弁(健康福祉課長)

事業の進捗状況や実績等を確認し指導助言する立場です。3カ年後も自主的に事業を運営していきけるような事業展開を進めていききたいと考えています。

要望

事業背景にある「部落差別の解消の推進に関する法律」(以下「法律」という)は、何が「部落差別」であるのか定義がなく、以前の法律のような財政措置もない、あくまで理念法です。

また法律には、「相談体制の充

実」「教育・啓発」のほか「部落差別の実態調査」が謳われていますが、参議院法務委員会では、法律案の提案者が「旧同和地区や地区住民を特定した調査はまったく考えていない」と答弁されるなど、それらの審議を経て、自由民主党、公明党、民進党らの共同提案による参議院の附帯決議に至っています。

附帯決議は、法的拘束力がなくとも、政治的には尊重されるべきものです。

法律は、今年度の町民人権学習会でのテーマのひとつです。町民に広く啓発するにあたって、また法律を根拠に事業をするにあたって、これらのことに留意していただき、慎重に対応されるよう、要望します。



① JR 湯浅駅舎及び駅周辺整備
事業計画の進捗状況は
②人口減に対する対応策は
③役場の機構改革は



横矢 政明 議員

質問①

新計画と今までの計画との違いは。

答弁(上山町長)

これまで駅舎と一体となった複合施設の建設ということで検討していましたが、鉄道事業者等との協議期間が長くなることや駅舎の移転に伴い、莫大な財政負担が発生するため今までの駅舎を活用して、防災機能を有した総合施設の設置を進めてまいります。

再質問

湯浅駅の乗降客が藤並駅に負けてきました。1日に湯浅駅は2千400人程で、藤並駅は3千人程です。少しでも早く高齢者、また不自由な方が利用できる駅にしてほしい。この計画の町民への説明はどのようにするのか。

答弁(上山町長)

駅の改修は早急にやる必要があると思っています。駅をバリアフリー化する、エレベーターをつけ

ることが町民の要望であると思っています。1時間でも早い湯浅駅の改修に取りかかりたいと思います。

答弁(まちづくり企画課長)

全町民対象の説明会をなぎホールで6月28日に予定しています。

質問②

2060年の湯浅町の人口目標は。

答弁(まちづくり企画課長)

2060年(平成72年)、今から43年後の湯浅町の人口は約4千400人まで減少するとされています。本町では「若い世代への結婚、子育て等の支援、安心安全な暮らしの実現、雇用の安定化と創出、人口流出の食い止め」の4つの柱を基本目標とする総合戦略を策定し、人口ビジョンに掲げている目標の8千人を維持するための取り組みを進めています。

質問③

ブランド戦略推進室とは。

答弁(副町長)

私が町長の特命を受けて、各課

を統括する専門の部署ということ、副町長がそれと一体となって、各課に指令を出す立場にある部署と位置づけておりますので、そういう形で町長の意図を進めてまいります。と思っています。

再質問

組織図に総務課など入っていない課があるが、なぜ全部の課が入っていないのか。私は仕事とは組織がするもので、組織をつくっているのが人だから人の兼ね合い、上下の関係、横のつながりなど、特に行政の場合、大事だと思うが、そのことについては十分配慮をしていただきたい。

答弁(副町長)

私が町長の特命を受けた後に課としてブランド戦略推進室を通じて、各関係課と緊密に連絡をとりますので、担当課長が知らないということはないように努力してまいります。



①湯浅町の観光振興について ②防災対策について



小松 英夫 議員

質問①

(仮称)湯浅町観光振興条例制定に向けて、観光振興については民間主導でやっていただいています。シロウオまつり、行灯アート展、ぎよぎよつとお魚まつりやその他の多くの行事や催しごとをしていただいています。今年の4月28日に「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地としてわが町湯浅が日本遺産認定を受け、これらをさらに発展盛り上げ、また新しい観光資源を発掘していくためにもまた湯浅町観光協会の法人化へ準備との声があるなか観光振興のための条例によって、目的、定義、基本理念を定める必要があると考えています。

答弁(上山町長)

議員ご指摘のとおり、日本遺産認定を一つの区切りとして、これからの湯浅町の観光を見直す良い

機会であると考えています。今後、「官」と「民」の役割を明確にし、協同で観光振興を図り、地域の活性化を目指していく必要があります。条例制定には検討していきま



▲シロウオ漁

す。条例制定には検討していきま

質問②

各地区の避難経路について、町民の防災意識は年々薄れているように私は思います。大きな災害が起きた時には果たして対応できるのかどうか私は常に不安を感じているところですが、去年11月5日の湯浅町津波避難訓練においても参加者が少なかつたと思います。町民への対策として、防災担当課とし

て町内自主防災組織や区長さんに避難経路を指導しているのかお聞きしたい。

答弁(総務課長)

3年前に津波避難マップを新たに作成し、全戸配布しており、また、そのマップ作成時、町内各地域でワークショップを開き、町民の方々自らが避難場所、避難経路を設定していただいた経緯がございます。一定の認識はできていると思われませんが、今後においても避難訓練など機会がある度に、マップの確認などを呼びかけたいと考えています。



▲避難訓練のようす



まちづくりについて

①日本遺産認定について

②その他



松本 光成 議員

質問①-1

広報ゆあさ5、6月号等で大きく取り上げられた日本遺産認定ですが、私も一町民として大変嬉しく、歴史の1ページに参加していることを誇りに思うと共に、先人たちが築き上げてきたことに感謝申し上げます。

もちろん認定に至ったのは、上山町長はじめ町職員や関係者の皆様方の努力の成果だと率直に評価をいたします。

これから日本遺産という大きな冠をつけてのまちづくりを積極的に推し進めるには、町内はもちろん全国的に広報・啓発が必要不可欠だと考えます。

そして、何よりも認定の喜びを全町民でお祝いする催しとし、今後計画している行事等について、どのように考え、実施していくのかお聞きします。

答弁(町長)

日本遺産認定という歴史的な出来事を町民の皆様とお祝いできるよう、本町が誇る醤油醸造文化に造詣が深い著名人をお招きして、7月9日「醤油発祥の地フォーラム」を開催し、記念品や餅まき等で盛大にお祝いしたいと考えています。

また、先日の「しおかぜコンサート」や湯浅まつりなど、日本遺産認定を祝う冠をつけて実施し、また、このフォーラムを皮切りにのぼりや動画等のPRツールの作成や首都圏でのシンポジウムを計画し、本町の魅力を日本全国の方々に知ってもらうべく、積極的な活動を進めてまいります。

県下一納税額のふるさと納税の返礼品を日本遺産の認定を受けたシンボルマークや冊子・チラシ等で積極的に活用してはどうか。

答弁(副町長)

湯浅町をPRするチラシや封筒等に日本遺産の情報発信を追加するよう発注しています。

質問①-3

町の玄関口である湯浅駅前と顕国神社前県道の最低2ヶ所に日本遺産認定の看板と大仙堀辺りにシンボルの(例：大樽、常夜灯等)な物の検討をしてはどうか。

答弁(副町長)

日本遺産認定をバネに全町的に観光資源の整備と全国的に情報発信していかねばならないと思います。町長の特命を受けての「室」において、総合的に考えて推進していきたいと考えています。





子育て支援について

山本 年哲 議員

質問

これからの湯浅町にとって若い世代が安心して子供を産み、ゆとりをもって健やかに育てていくことができる環境を整え支援していくことが重要と私は考えています。そこで若い世代が安心して子供を育てるために必要と思う4つの提案をさせていただきます。

1つ目に産後最初におこなう出産した病院で母子ともにおこなう1か月検診が有料となっていますが、この1か月検診の無料化を提案いたします。

2つ目に病児病後児保育について。子供が病気をし、平日仕事に行き子供を預けることのできない家庭にとって大変有り難い施設です。しかしこの施設を利用すると普段支払っている保育料とは別に1日1、2千円の負担が掛ります。この保育料とは別に掛る負担を支援していただきたい。

答弁(健康福祉課長)

1つ目の1か月検診無料化、2つ目の病児病後児保育への助成は子育て世代にとって大変有難い支援であると考えます。子育て支援策の更なる充実を図るため検討していきたい。

質問

3つ目小学校・中学校へ入学す

ることは家族にとり大変喜ばしいことではありますが家族にとっては入学準備のために経済的負担が掛るのも現実であります。そこで町としても入学を祝い、家庭の経済的負担を軽くする意味でも入学を祝う制度の導入を検討していただきたい。

答弁(教育次長)

入学を祝う制度の導入については学用品の支給や入学準備金など子供の実態に即した政策を学校と共に検討していきたい。

質問

4つ目の学校給食費の無償化については家庭の経済的負担を軽減することと併せ、給食費の滞納で肩身の狭い思いをしている子供がいる。これらの対策も含め学校給食費の無料化を検討していただきたい。

答弁(教育次長)

学校給食費の無償化に関しては、教育再生実行本部でも取上げられており、今後の動向を見ながら判断していきたい。



議長杯ゲートボール大会を開催

7月11日(火) 第36回議長杯ゲートボール大会が町民グラウンドで開催され、議会から8名の議員が参加しました。

優勝： 栖原 C チーム
 準優勝： 栖原 B チーム
 第3位： 栖原 A チーム
 第4位： ゆあさ チーム



地方自治の進展のために役割を果たしたことを高く評価され表彰されました。



松本 典久 議員
 (議長3年以上)

5月24日、第69回和歌山県町村議会議長会定期総会において、議会議長として3年以上在職し功労のあった者に贈られる表彰を、松本典久議員が受けられました。

議会の傍聴にお越しく下さい

議会は公開されていますので、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。議会での議員の発言や町長の考えを直接見聞きすることができますので、お気軽にお越しください。

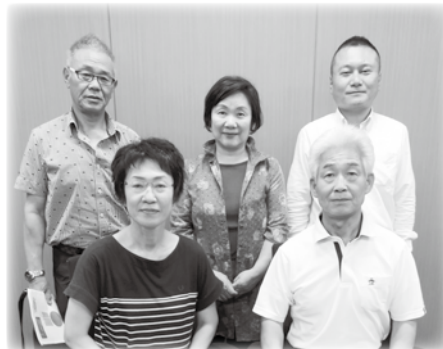
次回の9月定例会は
9月6日(水)～
 開催予定です。



議会広報

編集常任委員会

- 委員長 山田 真里
- 副委員長 小松 英夫
- 委員 石橋 千歌子
- 委員 石本 一也
- 委員 山本 年哲



編集後記

今号より、このメンバーで町民の皆さんに親しみやすい紙面づくりに努めます。任期は2年です。よろしくお祈りします。

